

## 北海道札幌真栄高等学校

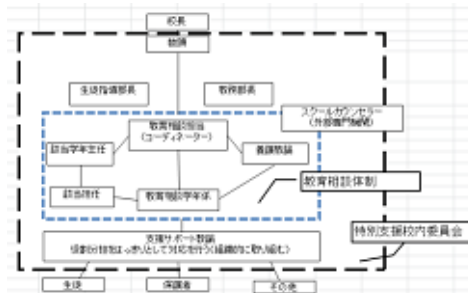
課程 全日制  
学科 普通科  
生徒数 767名

### 1 取組の特徴

スクールカウンセラーによる生徒への個別相談や、教師や保護者への指導と助言等、学校における教育相談の充実を図ることにより、集団への不適応傾向をもつ生徒への支援や、コミュニケーションスキル不足から自己肯定感を抱くことのできない生徒への支援を充実させる。

### 2 取組のねらい

スクールカウンセラーを配置することにより、個々の生徒との面談時間を確保し、保護者や関係教員と連携を図りながら早期対応、効果的な支援を行う。さらに、専門教育機関、医療や福祉などの外部機関等との支援体制を確立させる。



### 3 取組の経過

年間 スクールカウンセラーによる  
個別相談  
8～9月 見学旅行に向けた人間関係作り  
の支援  
11月 エンカウンターグループの実施  
1月 校内研修会の実施  
講師：北翔大学教授  
山谷 敬三郎氏

学年、関係分掌、養護教諭等が定期的に打合せを持ち、学校生活で集団への不適応などから、支援が必要と思われる生徒について共通理解を図った。

石狩教育局の特別支援教育スーパーバイザーを招き、特別な配慮を必要とする生徒への支援方法について研修を行った。

### 4 取組の内容

- 1 年間を通してスクールカウンセラーによる個別相談の実施
- (1) 実施 8月～2月の12回
  - (2) 対象 生徒 10件、教諭 12件、保護者 8件

## 2 見学旅行に向けた人間関係作りの個別支援

## 3 生徒を対象としたエンカウンターグループの実施

- (1) 日 時 11月30日(火)
- (2) 対 象 1年生1クラス
- (3) 講 師 北翔大学教授 山谷 敬三郎 氏
- (4) 内 容 「コミュニケーションと人間関係」
  - ・エクササイズ1「流れ星」  
絵の内容を言葉で伝え、同じ絵を描くゲームであるが、イメージの違いにお互いが気づく。
  - ・エクササイズ2「サバイバルゲーム」  
アウトドアライフを楽しむためにチームでコンセンサス法を用いて様々な困難を解決する答えを探る。



## 4 校内研修会の実施

- (1) 日 時 1月15日(火) 9:50~11:00
- (2) 講 師 北翔大学教授 山谷 敬三郎 氏
- (3) 内 容 目の前の生徒たちにどう対応するか  
~カウンセラーからの提言~  
コーチングの基礎理論とコア・スキル
  - ・メンタルヘルス・ケア(精神健康管理)の対応

# 5 次年度に向けて

## 1 成果

- ・中途退学者数は昨年と比べて変化はないが、不登校生徒数は減少傾向となった。
- ・生徒がスクールカウンセラーとの個別相談を受けることにより、教室に戻ることができた事例など個別相談の成果が上がってきている。
- ・子ども理解支援ツール「ほっと」を実施し、クラス・学年の生徒のコミュニケーションスキルを把握することができた。
- ・学校生活に不適應感を抱いていた生徒が、自己肯定感を持てるようになってきている事例が数件見られた。

## 2 課題

- ・HR経営や教科指導において、生徒が友人関係・人間関係を築く手法を身に付けさせる必要がある。
- ・集団の中の個々の生徒の位置を把握する必要がある。

## 3 次年度に向けて

- ・教員の教育相談のスキルアップ
- ・今年度の相談体制の継続
- ・Q-U等の実施と活用についての研修